第　１　章

関西ねじ協同組合

創 立 １ ０ 周 年 記 念 式 典

日時：平成２５年１月１７日

場所：シティプラザ大阪　旬の間

The Fasteners Cooperative association of Kansai

第１章　記念式典

第１部　記念講演　講師：桂米團治　『国際人って何？』

演台上に正座して落語の一部を披露された桂米團治さん♪
（写真上）

～　講師：桂米團治さん Profile　～

本名：中川　明（なかがわあきら）
生年月日：昭和３３年１２月２０日
出身地：大阪府大阪市

【一言コメント】
上方の華やぎを大切に、落語の更なる繁栄を願って、今日も落語に邁進します！！

～講演に聞き入る参加者の方々～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～式典受付のようす～

～司会進行を務める副理事長　北井啓之　氏～

～２４０名を越える参加者の方々～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～挨拶する理事長の箕村理氏～

～近畿経済産業局 細川氏から祝辞～

～社団法人日本ねじ工業協会竹中弘忠会長からご祝辞～

～黄綬褒章受章の御祝：土沢健一氏（㈱ナツハラ）～

～乾杯の発生をする北井相談役と参加者～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～祝宴に華を添えたフラメンコショー～
記念式典では市川恵子フラメンコスクールの皆さんが素晴らしいショーをご披露下さいました。

～閉会の挨拶をする副理事長の中江良一氏～

～米朝締めで祝宴を終える参加者の皆さん～

運営委員のご紹介

式典担当の運営委員

～～お茶目な米團治さんと運営委員～～

西副理事長・中江副理事長・北井副理事長

理事長 箕村理・桂米團治さん・池田裕之専務理事

10 周年記念誌の編集委員

～『１０年のあゆみ』編集委員～～

今井敏雄理事・久保清一理事・池田裕之専務理事

～～桂米團治さんのブログ紹介～～

1 月 17 日(木)は「関西ねじ協同組合」発足 10 周年記念の新春懇親会の講師として招かれ、「国際人って何？」という演題でお話しをさせていただきました。
私は“ねじ”に関しては全然知識がなかったので、事前に辞書で下調べをしました。
それによると、語源としてはギリシャ語で「かたつむりの殻」を意味する Cochlea が、ラテン語の「ねじ」になったとか。また、ビスに関してはラテン語で「ぶどうの蔓」を意味する Vitis が、フランス語で Vis となり、「ビス」と呼ばれるようになったそうです。

日本でのねじ産業の歴史は明治以降だそうですが、今回、理事長の箕村理さんにお話しを聞くにつれ、日本のねじ精度の高さは群を抜いているんだなぁと感心しました。
ただ、先般の中央自動車道の笹子トンネルの天井崩落事故に関しては、「すぐに我々ねじ業界が槍玉に上げられてしまいますが、あれは設置方法と点検補修の仕方に問題があるんです」と仰っていました。
考えてみると、トンネルに吊られている大きなジェット送風機も“ねじ”で留められているんですからね。青函トンネルも明石海峡大橋も“ねじ”が無ければ完成しない！ 「アンカー」と呼ばれる“ねじの土台”の付け方がいかに大切かということを教えていただきました。 小さな小さな“ねじ”からとてつもない大きなものを造り上げる…。

ふと、落語にも似ているなと思いました(ˆーˆ) 我々も扇子と手拭いだけでとてつもない大きな世界を作り上げますからね(ˆ_ˆ)
製造業の根幹をなす“ねじ業界”の皆さん、これからもがんばって下さいね☆☆☆

ウチのモモにも“ねじり鉢巻き”をさせました(ˆ0_0ˆ)